

- 1 伊藤博文が大日本帝国憲法の草案を作成する際、参考にされたドイツの憲法を何という？
- 2 日本が工場制機械工業へ移行し、経済体制が大きく転換したことを何という？
- 3 日清戦争の講和条約で、日本が清から割譲された中国東北部の半島を巡る条約の名称は？
- 4 西郷隆盛らが指導した、1877年に起こった土族反乱が始まった場所を何という？
- 5 イギリス船が沈没した際、日本人乗客が見捨てられ、船長が日本の法律で裁けず軽い刑で済まされたことで、条約改正の世論が高まるきっかけとなった事件を何という？
- 6 1875年、日本が朝鮮の開国を迫るために沿岸へ派遣した軍艦を何という？
- 7 明治時代の産業革命期に、日本で発展を遂げ、綿糸の輸出入の逆転に大きく貢献した分野を何という？
- 8 明治政府が欧米の制度を視察し、不平等条約の改正交渉を行うために派遣した使節団を何という？
- 9 明治時代に日本の主要な輸出品となり、アメリカへの輸出で近代化を支えた繊維製品は何？
- 10 1873年に地租改正を行い、安定した財源確保を図った組織を何といいますか？
- 11 明治時代の日本の社会や国際関係を鋭く批判し、多くの風刺画を残したフランス人画家は誰？
- 12 1894年に朝鮮半島で発生した農民による反乱について、当時の宗教団体名から何という？
- 13 鹿鳴館において、外務卿として中心となって領事裁判権の撤廃を目指す条約改正交渉を進めた人物は誰？
- 14 明治時代に発生した足尾銅山の排水が原因で起きた公害事件を何という？
- 15 小村寿太郎が全権として調印した、日露戦争の講和条約を何といいますか？
- 16 大日本帝国憲法の草案作成の中心的役割を担った政治家は誰？
- 17 明治時代の貿易において、海外への輸出が特に盛んだった繊維製品の原料となるものを何という？
- 18 1889年に公布され、天皇を国家の主権者と定めた日本の近代的な憲法を何という？
- 19 明治時代にドイツへ留学し、近代的な医学を学ぶとともに、『舞姫』などの優れた小説も書き上げた人物は誰？
- 20 日露戦争後に結ばれたが、日本は賠償金を得ることができず、国民の不満から暴動が起きた講和条約を何という？



① 書く  
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う  
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける  
言えたら□にチェック

| 問  | 解説                                                                      | ▼ここで折る | 答え               | 言えた                      |
|----|-------------------------------------------------------------------------|--------|------------------|--------------------------|
| 1  | 伊藤博文らは欧米の諸国を調査し、中でも皇帝の権限が強いドイツの <u>プロイセン憲法</u> を高く評価しました。               |        | <u>プロイセン憲法</u>   | <input type="checkbox"/> |
| 2  | <u>産業革命</u> とは、蒸気機関や大型機械を導入することで、手工業中心だった生産体制から、工場での大量生産体制へ移行したことを指します。 |        | <u>産業革命</u>      | <input type="checkbox"/> |
| 3  | 1895年4月に調印され、日本側全権として伊藤博文と陸奥宗光が参加しました。                                  |        | <u>下関条約</u>      | <input type="checkbox"/> |
| 4  | 政府を去った西郷隆盛を慕う土族たちが、 <u>鹿児島</u> を中心に不満を募らせていました。                         |        | <u>鹿児島</u>       | <input type="checkbox"/> |
| 5  | 1886年、和歌山県沖でイギリス船ノルマントン号が沈没しました。                                        |        | <u>ノルマントン号事件</u> | <input type="checkbox"/> |
| 6  | 1875年、日本は「 <u>軍艦雲揚</u> 」を朝鮮の沿岸に派遣し、測量という名目で挑発行為を行いました。                  |        | <u>軍艦雲揚</u>      | <input type="checkbox"/> |
| 7  | 大阪紡績会社に代表される紡績業など、衣服や日用品を扱う「 <u>軽工業</u> 」が産業革命をリードしました。                 |        | <u>軽工業</u>       | <input type="checkbox"/> |
| 8  | 1871年、岩倉具視を特命全権大使として、木戸孝允や大久保利通ら政府の主要メンバーが欧米へ派遣されました。                   |        | <u>岩倉使節団</u>     | <input type="checkbox"/> |
| 9  | 製糸工場で生産された <u>生糸</u> は、アメリカなどの欧米諸国で需要が高く、日本の主要な輸出品となりました。               |        | <u>生糸</u>        | <input type="checkbox"/> |
| 10 | 1873年、地租改正を実施しました。                                                      |        | <u>明治政府</u>      | <input type="checkbox"/> |
| 11 | <u>ビゴー</u> は日本に滞在し、当時の政治や社会現象を独特のユーモアと鋭い風刺を込めて描き続けました。                  |        | <u>ビゴー</u>       | <input type="checkbox"/> |
| 12 | 農民たちは「東学」という宗教を組織的に受け入れ、反封建・反外勢力を掲げて武装蜂起しました。これが <u>東学党の乱</u> です。       |        | <u>東学党の乱</u>     | <input type="checkbox"/> |
| 13 | <u>井上馨</u> は、外務卿として条約改正交渉を主導しました。                                       |        | <u>井上馨</u>       | <input type="checkbox"/> |
| 14 | これが「 <u>足尾銅山鉱毒事件</u> 」です。                                               |        | <u>足尾銅山鉱毒事件</u>  | <input type="checkbox"/> |
| 15 | 1905年、小村寿太郎が日本全権として出席し、 <u>ポーツマス条約</u> が締結されました。                        |        | <u>ポーツマス条約</u>   | <input type="checkbox"/> |
| 16 | ドイツの憲法をモデルにしつつ、天皇を国家の最高権力者とする大日本帝国憲法の草案をまとめました。                         |        | <u>伊藤博文</u>      | <input type="checkbox"/> |
| 17 | 富岡製糸場をはじめとする機械制工場が次々と建設され、効率的な <u>生糸</u> の生産が行われました。                    |        | <u>生糸</u>        | <input type="checkbox"/> |
| 18 | 1889年に公布された <u>大日本帝国憲法</u> は、天皇を主権者としつつ、議会や内閣のあり方を規定しました。               |        | <u>大日本帝国憲法</u>   | <input type="checkbox"/> |
| 19 | <u>森鷗外</u> は軍医としてドイツに留学し、最先端の医学を学びました。                                  |        | <u>森鷗外</u>       | <input type="checkbox"/> |
| 20 | 1905年にアメリカのポーツマスで結ばれました。                                                |        | <u>ポーツマス条約</u>   | <input type="checkbox"/> |

言えなかった用語ノート